

紀美野町第1回定例会会議録

平成29年3月14日（火曜日）

○議事日程（第4号）

平成29年3月14日（火）午前9時00分開議

- 第 1 議案第16号 平成28年度紀美野町一般会計補正予算（第6号）について
 - 第 2 議案第17号 平成28年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について
 - 第 3 議案第18号 平成28年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第3号）について
 - 第 4 議案第19号 平成28年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
 - 第 5 議案第20号 平成28年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について
 - 第 6 議案第21号 平成28年度紀美野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について
 - 第 7 議案第22号 平成28年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について
 - 第 8 議案第23号 平成28年度紀美野町美里簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について
 - 第 9 議案第24号 平成28年度紀美野町上水道事業会計補正予算（第3号）について
 - 第10 議案第35号 第2次紀美野町長期総合計画基本構想の策定について
-

○会議に付した事件

日程第1から日程第10まで

○議員定数 12名

○出席議員

議席番号 氏 名

1 番 南 昭 和 君
2 番 上 柏 皖 亮 君
3 番 七良浴 光 君
4 番 町 田 富枝子 君
5 番 田 代 哲 郎 君
6 番 西 口 優 君
7 番 北 道 勝 彦 君
8 番 向井中 洋 二 君
9 番 伊 都 堅 仁 君
1 0 番 美 野 勝 男 君
1 1 番 美 濃 良 和 君
1 2 番 小 椋 孝 一 君

○欠席議員

な し

○説明のため出席したもの

職 名	氏 名
町 長	寺 本 光 嘉 君
副 町 長	小 川 裕 康 君
教 育 長	橋 戸 常 年 君
消 防 長	家 本 宏 君
総 務 課 長	細 峪 康 則 君
企 画 管 財 課 長	中 谷 昌 弘 君
住 民 課 長	増 谷 守 哉 君
税 務 課 長	西 岡 秀 育 君
保 健 福 祉 課 長	湯 上 ひ と み 君
産 業 課 長	湯 上 章 夫 君
建 設 課 長	井 村 本 彦 君
教 育 次 長	前 田 勇 人 君

会 計 管 理 者 南 秀 秋 君
水 道 課 長 田 中 克 治 君
ま ち づ く り 課 長 西 岡 靖 倫 君
建 設 室 主 幹 椎 木 宏 修 君
代 表 監 査 委 員 向 江 信 夫 君

○欠席したもの

美 里 支 所 長 西 敏 明 君

○出席事務局職員

事 務 局 長 大 東 淳 悟 君
書 記 井 戸 向 朋 紀 君

開 議

○議長（小椋孝一君） 規定の定足数に達しておりますので、これから、本日の会議を開きます。

（午前 9時00分）

○議長（小椋孝一君） 本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 議案第16号 平成28年度紀美野町一般会計補正予算（第6号）について

○議長（小椋孝一君） 日程第1、議案第16号、平成28年度紀美野町一般会計補正予算（第6号）について議題とします。

これから質疑を行います。

6番、西口優君。

（6番 西口 優君 登壇）

○6番（西口 優君） 65ページの地域おこし協力隊、これ賃金の減額というふうになってるんですけども、先ほどちょっと聞かせてもらったら、人数が集まらなかったという。だけど、こういうふうなことの中で、この行政にどのような影響が出るのか、ちょっと尋ねたいと思います。

（6番 西口 優君 降壇）

○議長（小椋孝一君） まちづくり課長、西岡君。

（まちづくり課長 西岡靖倫君 登壇）

○まちづくり課長（西岡靖倫君） 西口議員の地域おこし協力隊が集まらなかったことに対して、どういう影響があるかという御質問であったかと思うのですが、まず、2つに分けて考えてみますと、住民にとっては、各地域でいろんなまちおこし、地域再生、地方創生というようなことをやっております。そんな中で、そのグループの方たちとともに事業を進めていく中で、本当に地域おこし協力隊を必要とされている地域もあります。

それから、今後の新たな事業の展開をするというときにおきまして、そういう体制をとっていくということを本当にやっていきかけたのですが、残念ながらできなかったということで、地域住民に大変、御迷惑をおかけしている、または、残念がっているというような状況です。

町にとりましても、新たな事業展開を平成29年度からやっていく事業とか、それか

ら、去年からやっている加速化交付金というのを、平成28年度から行っているわけなのですけれども、その体制の中で、すごいほかの隊員に対しても負担になっておりますし、進め方において、もっと突っ込んだことをやっていけたらなというようなことも考えた中で、事業展開がうまくいってないですけども、協力して進めているというような状況に、今あります。

以上、簡単ですが、答弁とさせていただきます。

(まちづくり課長 西岡靖倫君 降壇)

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

(午前 9時05分)

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前9時05分)

○議長（小椋孝一君） まちづくり課長、西岡君。

○まちづくり課長（西岡靖倫君） 西口議員の御質問に対して、弊害に関してのことなのですが、確かに、採用に来ていただけなかったということに対して、まず、その期間中というのは、その隊員におきましては移住者にもなりますので、移住者当たりの1人当たりの交付税額というのが、町にとってはすごいマイナスになるんじゃないかなと思っています。

それから、弊害となると、いろんな面も考えられるのですが、地域再生をしていく、または地方創生をしていくという上において、進めていけないということが若干ありましたということが弊害の一つになるかと思えます。

以上、簡単ですが、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 6番、西口優君。

○6番（西口 優君） 全国的に、地域おこしというのが進められている中で、そういう職員が集まらなかったという、そういうふうな人員が集まらなかったということについて、こういうことは今後も起こり得るというふうになってこようと思います。だから、今までのやり方で、それだけの手が集められるかどうかということについて、単年度、ことしだけ集まらなかったという、そうなら、また次年度からは普通どおり、も

との目的どおり行えるかなとも思うのですけれども、今のやり方で集まらなかったということについて、何らかの対策をとらなかったら、地域の創生ということがおこなわれてくるんじゃないかと、こういうふうに思うんですよ。

だから、やっぱり、ある程度、紀美野町の特色というのをPRして、そういうふうなことを集めていく必要があるのかなって。現実問題、これだけのお金が、予定されていたことができなかったということについて、今後の見通しというのはどうなりますかね。その点をちょっと、見通しを尋ねたいと思います。

○議長（小椋孝一君） まちづくり課長、西岡君。

○まちづくり課長（西岡靖倫君） 西口議員の再質問にお答えさせていただきます。

集め方としまして、昨年度は、JOINという一つの地域おこし協力隊の組織がありまして、そこが募集をかけてるわけなんですけども、たくさんの自治体が地域おこし協力隊を集める、それと、以前は三大都市圏からの地域への地域おこし協力隊の導入ということであったのですけども、今から数えまして2年前から、地域おこし協力隊の導入というのは、三大都市圏周辺の市町村からというような、すごい大幅な施策の制度上の改正がありまして、その関係で、たくさんの人が応募していただける間口が相当広がってきているわけなんですけれども、ただ、地域おこし協力隊を募集しても、たくさん集まってくるといところも調べております。平成29年度におきましては、そういう方法もとっていきたいと考えております。

それというのは、民間の就職関係、または、仕事のあっせんをするようなメディア関係を通じての仕事を求めていくようなところとか、それから、JICAとかという、海外青年協力隊で出られた方を導入しているとかっていうことで、多方面にわたって、今後、研究の価値があって、進めていかなければならんということを感じております。

それで、今後の地域おこし協力隊を進める上においては、まず、紀美野町のよさをPRしながら、東京での相談会、大阪での相談会という、地域おこし協力隊の和歌山県下統一した中でのPR相談会というのもありますので、それにも参加しまして、積極的に進めていきたいと考えております。

簡単ですが、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ございませんか。

5番、田代哲郎君。

（5番 田代哲郎君 登壇）

○5番（田代哲郎君） それでは、歳入のほうから。55ページ、歳入14款、国庫支出金、国庫負担金のうち、民生費国庫負担金、障害者福祉費負担金で、細目、障害者自立支援給付費負担金が320万8,000円の減額です。減額の理由について、担当課からお願いします。

次、56ページの国庫補助金、2項国庫補助金で、これも民生費国庫補助金で、社会福祉費補助金、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業補助金が、ちょっと大きくて、2,292万円の減額になっております。この減額理由について、実績という説明でしたが、具体的に歳出実績でどうなっているのかというところも合わせて答弁を求めます。

それから、15款県支出金、57ページに移ります。2項県補助金で、2目民生費補助金、老人福祉費補助金で、地域医療介護総合確保事業施設等整備費補助金も558万9,000円、この辺は非常に減額幅が大きい、減額になっています。減額の理由について、答弁を求めます。

それから、4目の農林水産業費県補助金ですが、1節農業費補助金で、青年就農給付金事業給付金が、これまた、637万5,000円の減額になっています。この減額理由の答弁を求めます。

歳出に移ります。

60ページです。60ページの2款総務費、戸籍住民基本台帳費で、1目戸籍住民基本台帳費、19節負担金補助及び交付金で、通知カード・個人番号カード関連事業負担金が13万7,000円、これは減額幅はそんなに大きくないのですが、マイナンバーの関連の減額ですので、一応、減額の理由をお聞かせください。

3款の民生費、これは、61ページになります。民生費、1項社会福祉費、3目老人福祉費、賃金で、こちらは集落支援員、205万円の減額になっています。この減額理由について、答弁を求めます。

次は、障害者福祉費、ページの記載を忘れましたが、障害者福祉費で、扶助費、障害児給付費600万円の減額、医療実績という説明だったと思うのですが、具体的な説明をお求めます。

あと、教育に移りまして、4項社会教育費の67ページ、公民館費、工事請負費、中央公民館電気室改修工事の140万8,000円の入札差額ということでの説明です。これは、具体的にどういう工事なのか、説明を求めます。

以上です。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 保健福祉課長、湯上君。

(保健福祉課長 湯上ひとみ君 登壇)

○保健福祉課長 (湯上ひとみ君) それでは、田代議員の御質問にお答えいたします。

55ページの歳入でございます。障害者自立支援給付費負担金、320万8,000円の減額についてでございます。これは2点ございまして、うち、一つに、障害児給付費というのがございます。主には、児童発達支援給付なんですけれども、この減額になった理由なんですけれども、平成27年度12月の状況で、支給決定者が多くなっておりまして、16名でしたので、大目に見込んだんですけれども、今年度に入りまして、保育所の年長児の方が、小学生になってからの利用が減ったということで、600万円の2分の1の金額となっております。

もう一つは、障害児施設医療費につきましては、近隣では、これが該当する施設が若竹園というところ、1カ所でございます。これは、1人利用見込みでしたが、昨年4月で、若竹園の登録が変更されました。従来、医療型児童発達支援というものから、児童発達支援ということに変わりました。こちらではなくなったために、当初42万円予算を置いていたところ、平成28年3月分のみ支払い、約5,000円弱なんですけれども、それとなったために、減額して、合計320万8,000円の減額となっております。

続きまして、56ページの14款、1項、2目の社会福祉費補助金の中の年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費補助金の2,292万円の減額についてでございます。これにつきましては、障害基礎年金、または遺族基礎年金となっていたんですけれども、基礎年金以外も含めていた、対象として上げてしまっていたということと、今年度、平成28年5月2日から8月2日まで、65歳以上で、住民税非課税の方が対象外と、重複してもらえないということになっておりまして。そのため、850人見込みのところ、実績が86人だったということで、大きな金額の減額となってしまって申しわけないんですけれども、このようなことになりました。これは、単価につきましては3万円の分となります。

続きまして、57ページの15款の2項、2目の老人福祉費補助金の中の地域医療介護総合確保事業施設等整備費補助金についてでございます。これにつきましては、小規

模多機能型居宅介護支援事業所の施設開設準備経費等支援事業分となっております。

計画では、平成27年度からの取り組みを予定していた小規模多機能型居宅介護支援事業所なのですが、県の要望もありまして、平成28年度から募集をするということで始まったわけなのですが、平成27年度に2回募集したのですが応募がなく、また、平成28年度は、2回応募してなかったために、応募期間を少し延ばさせていただきました。それで、平成28年10月に、新しい事業所を決定させていただいて、12月補正で議決をいただいたところでございます。

この事業の建設費につきましては、今回、施設整備事業ということで3,200万円の繰り越しをお願いしているのですが、今回、ここを出させていただいている558万9,000円につきましては、施設の備品等の補助金ですので、施設ができ上がったからの整備となるために減額をさせていただいたものです。

続きまして、歳出です。

61ページ、3款、1項、3目の7の老人福祉費の賃金の集落支援員の分になります。これにつきましては、減額分の理由につきまして、平成28年度から、5月からなのですが、看護師2名の職員をサロン事業ということで募集しておったのですが、再三、募集したところ、ございませんでした。再度、募集によりまして、9月から1名の看護師と1名の事務職の雇用となったために、その差額を減額させていただいたものでございます。

次に、同じページの4目の障害者福祉費の中の障害児給付費についてでございます。先ほど申し上げたような内容になります。600万円の内訳につきましては、平成27年度、小さい子供、児童発達支援給付が、以前は10名だったのですが、16名と増加していたために増額をしていたのですが、利用がなかったために、この分の600万円が減額されたということになります。

以上、答弁とさせていただきます。

(保健福祉課長 湯上ひとみ君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 産業課長、湯上君。

(産業課長 湯上章夫君 登壇)

○産業課長 (湯上章夫君) 田代議員の御質問で、57ページの15款県支出金、2項、4目の農林水産業県費補助金でございます。その上のほうの、青年就農給付金事業給付金でございます。637万5,000円の減額でございます。こちらは、45歳

未満の青年の方々の新規就農に支援をするという給付金でございます。

当初のほうでは、個人5人、1人は150万円でございます。それで、750万円、夫婦3組で225万円の掛ける3組でございますと、675万円です。その予定をしておりました。実績では、個人が3名、夫婦が2組ということで、3人と2組の実績でございます。でございますので、希望者や申請者、相談される方々はあるんですけども、実際には、やりますというところまでいってなく、思っていたより人が少なかったということでございます。ただ、後半、11月、12月でも相談等がございましたので、予算としては置いておるのが現状でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

(産業課長 湯上章夫君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 住民課長、増谷君。

(住民課長 増谷守哉君 登壇)

○住民課長 (増谷守哉君) それでは、私から、60ページの2款、3項、1目の戸籍住民基本台帳費、このうちの19節の負担金補助及び交付金の中の通知カード・個人番号カード関連事業負担金、補正でマイナス13万7,000円ということになっております。

これにつきましては、地方公共団体情報システム機構が行う通知カードの個人番号カード関連事業の委任ということで、町がここに対して、カード関係の分を委託している分をこちらがお支払いするという費用でございます。

内容については、通知カードの作成、発送、個人番号カードの申し込み処理、個人番号カードの製造発送、一時停止等のコールセンターの業務に係る経費について、お支払いさせていただいておるというものです。

これにつきましては、56ページの歳入のうち、14款、2項、1目の総務国庫補助金で、個人番号カード交付金事業補助金、ここでもマイナス13万7,000円ということになっております。ということは、国からいただいたお金を全て、先ほど申しました地方公共団体情報システム機構へお支払いするというものでございます。

この減額につきましては、当初、割り当てしていた額が、全国的に市町村がお支払いするというので割り当てが下がってきたということに伴う補正でございます。

以上、説明とさせていただきます。

(住民課長 増谷守哉君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 教育次長、前田君。

（教育次長 前田勇人君 登壇）

○教育次長（前田勇人君） それでは、私からは、田代議員御質疑の67ページに
ございます、9款教育費、4項、3目公民館費のうちの工事請負費ということで、中央
公民館電気室改修工事に伴う工事内容についてということでの質疑であったかと思いま
す。

この内容につきましては、老朽化に伴います変圧器と高圧ケーブルの取りかえという
ことでございますので、御理解を賜りたいと存じます。

（教育次長 前田勇人君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） 3款の歳出、民生費の61ページの件で、集落支援員を募
集したけども、予定どおりに。これは、集落支援員といっても、看護師資格を持ってい
るとか、そういうあれに準ずるものだと思うんですけど、この先ほども同僚議員から、
地域おこし協力隊の募集方法ということで質疑があったんですが、集落支援員でこうい
う専門的な知識とか技術を要する募集というのは、どういうふうな方法で行っているの
か、そのあたりを一つお願いします。

それから、マイナンバーの通知カード・個人番号カードの減額ですけども、事業の進
捗というか、特に、個人番号カードの希望者が少ないということが全国的に言われてい
るんですけど、この町の場合は、大まかにどういう状況になっているのか、答弁を求め
ます。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 保健福祉課長、湯上君。

○保健福祉課長（湯上ひとみ君） 田代議員の再質疑について、お答えいたします。

募集につきましては、一般的には、広報誌とホームページでございます。ただ、看護
職を募集しておりましたので、声かけといたしますか、私たちが知っている限り、いろん
な方々とか機関にも相談させてもらい、声をかけたところでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、増谷君。

○住民課長（増谷守哉君） 田代議員の再質問にお答えさせていただきます。

マイナンバーの交付状況ということの御質問であったかと思えます。

ちょっとこれ、数値を読み上げさせていただきます。人口が約9,600人、このマイナンバーカードの交付申請件数が661件です。交付数が、カードを交付している人数が551名、この状況から見てみますと、申請率につきましては、7.05%の人口の比率になってございます。交付率につきましては、5.74%という、これは2月現在の数値でございます。

県下、順位でいきますと、申請につきましては、30市町村のうち、18番です。交付率につきましては、30市町村のうち、19番です。ただ、率の高いところといえますと、市と、人口が多くて、働き手、若い層が多いというところがかなり率が多くなっております。いろいろカードの利用が、会社からのいろいろな、カードをつくれというふうな要望がいろいろ多いためであろうかと思えます。紀美野町は高齢者が多い割には、交付率が中間地域ということで、頑張って交付に努めているのではないかと考えています。

以上です。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ございませんか。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） それでは、少しお聞きしていきたいと思えます。

55ページの歳入のところで、1款の町税なんですけれども、均等割で240万円、法人税割で150万円の減額と、こういうふうなことになっております。これについて、どうということか、お聞きしたいと思います。

それから、あと、61ページになるんですかね。ここでは、3款の社会福祉の中の、今、質疑のあった、老人福祉で集落支援員が上がっております。それから、当初予算で、ここに2人置くということで進めてきたと思うのですけれども、65ページの中で、山村振興費の中の賃金で、地域おこし協力隊、先ほど、他の議員さんもお聞きされていましたが、ここの集落支援員と地域おこし協力隊、その違いですね。今までも伝えてきていただいているんですけど、ちょっとそれについて、お聞きしておきたいと思えます。

それから、ちょっと上に上がって、64ページですが、そこで、農林水産業費の中で、7目の農業体質強化ですね。ここの中の工事請負費で、柿ノ戸、それから、庄の本、檜河、ここの3つの改修工事がそれぞれ上がっています。これについて、さらに長くやっ

てきておられますけれども、これで最終というようなことになるのかどうか、その辺についてお聞きしたいと思います。

それから、もう一つ上の地籍調査ですね。委託料が1,300万円の地籍、減額になっていますよね。これは多分、工事の状況、事業の展開の状況やと思うんですが、何をしても進めていかなければ、以前からも地籍の問題でお聞きしているように、高齢化が進んできて、知っている人がだんだんと亡くなっていった場合に、なおさら、うまく進んでいかないというふうなことから、事業を進めていくべきじゃないかということでお聞きしてきましたけれども、その辺との関係で、今回の1,300万円の減額はどうかあったのか、お聞きしたいと思います。

次、66ページの中の道路橋梁費ですね。土木費の中の道路橋梁費。ここで、原材料費の150万円、最近はなかなか、これも都市に皆さん行かれる中で、自分たちで材料をもらって工事をしていくということも、しにくくなったというふうなことを聞くんですけれども、これについて、お聞きしたいと思います。

それから、その下の教育の社会教育で、今、田代議員のほうから質問のあった、空調設備ですね。この減額、800万円ですけれども、これは、今どんなになっていますか。中央公民館と、それからこの庁舎についても、空調についてやられるようなことは聞いたんですけれども、今どんなふうな方向になっているのか、状況をお聞かせいただきたいと思います。

以上、お聞きしたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前 9時38分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前9時40分)

○議長 (小椋孝一君) 税務課長、西岡君。

(税務課長 西岡秀育君 登壇)

○税務課長 (西岡秀育君) それでは、美濃議員の質疑にお答えいたします。

歳入の1款、1項、2目法人均等割についての説明を申し上げます。

法人均等割で、理由といたしましては、1号法人の法人が3件の減、それから、7号法人から3号法人への指定がえが1件、8号法人から7号法人への指定が1件でございます。1号法人とは均等割5万円で、15万円、そして、7号法人が41万円が13万円に変更しました。差額28万円。8号法人から7号法人は、175万円から41万円の均等割の減でございます。そして、一番大きなのは、日本郵便の中間申告が、去年は300万円あったのが、150万円減であったということでございます。

増といたしましては、4件の均等割の増、そして、もう1件は、1号から7号への均等割の指定がえでございます。それを差し引きしますと、240万円の減額となります。

第2点目の、法人税割でございますが、12月末現在、確定分で、494万8,600円が確定しております。今後、予定納税という形、つまり、中間申告があるのが90万6,000円でございます。しかしながら、今後、予定納税でされている会社が減額という形で見込まれるものもございまして、56万円の減額でございます。これを計算しますと、150万円の減額となりますので、答弁とさせていただきますので、よろしく願いいたします。

(税務課長 西岡秀育君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 保健福祉課長、湯上君。

(保健福祉課長 湯上ひとみ君 登壇)

○保健福祉課長 (湯上ひとみ君) 美濃議員の御質疑の、61ページの3款、1項、3目、7節の賃金、集落支援員につきまして、先ほども説明させていただいたとおり、地域サロンの2名の雇用がおくれたことと、看護職2名のところ、1名が事務職になったため、減額したものです。

これにつきましては、集落支援員ということで、集落への目配りとして、集落の巡回、状況把握等実施する役割の方ということで、保健福祉課では、地域サロンに現在3名、災害時避難行動要支援者見守り看護師2名もこちらで雇用しているところです。

以上、答弁とさせていただきます。

(保健福祉課長 湯上ひとみ君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 建設課長、井村君。

(建設課長 井村本彦君 登壇)

○建設課長 (井村本彦君) 美濃議員の御質疑にお答えさせていただきます。

私のほうからは、64ページ、5款、1項、6目地籍調査費の13節委託料についてでございますが、こちらのほうの減額につきましては、入札差額のほうの減額と、それから、補助金の額の確定による減額によるものでございます。

議員御質疑の中にございました、地籍の進捗についてはどうかということでございますが、計画どおり進んでおると。現在の数値をもって、平成28年度末現在、77.9%の進捗であるということで、計画どおり進んでおるということで御理解をいただきたいと思っております。

続きまして、同じく、7目の農業対策強化基盤整備促進事業の15節工事請負費の3,100万6,000円の分でございますが、これに関しましては、追加補正でいただいた分でございます。この柿ノ戸水路、庄の本水路、檜河用水路に関しましては、これで完了するというところでございます。この事業に関しましては、平成24年度から実施しておりまして、この平成28年度の繰り越し分、この追加予算分をもって、事業はほぼ完了するという見込みになってございます。

続きまして、66ページをお願いします。7款土木費、2項土木橋梁費の1目道路橋梁維持費の16節の原材料費でございます。こちらのほうでございますが、1月、2月に、かなり雪が降ったために、凍結防止剤を使用してございます。

また、道路等々の補修も、それに伴って補修材料も必要となってまいりましたので、町において、一応、ストックしている分がなくなっておりますので、補正をお認めいただいて、その分を購入するというで置かせていただいております。

以上、答弁とさせていただきます。

(建設課長 井村本彦君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) まちづくり課長、西岡君。

(まちづくり課長 西岡靖倫君 登壇)

○まちづくり課長 (西岡靖倫君) 美濃議員の質疑について、お答えしたいと思います。

まちづくり課の集落支援員は、現在、移住・定住、または都市との交流というようなことを仕事として担っていただいております。集落支援員のあり方というのは、基本的には、各課におきまして、いろんな取り組みを、それぞれの地域の取り組みをやっていくというような形に、それぞれの課が受け持ってやっている関係上、保健福祉課と今現在、まちづくり課がそれぞれの形で集落支援員を導入しております。

それから、地域おこし協力隊に関しましては、基本的には、都市から過疎地域等の条件不利益地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者ということが、まず第一条件になっております。集落支援員との違いは、そこにあります。その中で、地域おこし協力隊員と集落支援員の方々に、まちづくりの中で活動していただいております。

減額の話に関しましては、地域おこし協力隊員、平成28年3月末現在におきましては、地域おこし協力隊員2名、集落支援員が1名職を離れることになりました。そんな関係で、大幅な減額になっているというのも事実でございます。

現在、そのときに盛りました賃金、地域おこし協力隊の賃金は6月に1名補正しているのですが、合計8名の減額になっております。集落支援員におきましては、1名分の減額になっております。

以上、簡単ですが、答弁とさせていただきます。

(まちづくり課長 西岡靖倫君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、中谷君。

(企画管財課長 中谷昌弘君 登壇)

○企画管財課長 (中谷昌弘君) それでは、私のほうから、美濃議員の御質疑について、御説明をいたします。

9款教育費、4項社会教育費、3目公民館費、67ページでございます、申しわけございません。13節委託料、中央公民館空調設備改修工事設計業務委託料、800万円の減額でございます。これにつきましては、本庁舎と関連をしておりますので、私のほうから御説明をさせていただきます。

本庁舎につきましては、議案書59ページでございます。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、13節委託料、本庁舎空調設備改修工事設計業務委託料700万円の減額ということでございます。

これにつきましては、本庁舎及び中央公民館の空調設備ということでございます。昭和57年に設備を設置してから、もう35年以上が経過しております。老朽化が著しく、設備の修理対応が困難な状況となつてございます。平成29年度において、空調設備の改修工事をするための設計を委託したものでございます。この減額につきましては、入札差額による減額が主なものとなっております。

以上、簡単ですが、御説明といたします。よろしく願いいたします。

(企画管財課長 中谷昌弘君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 歳入のところ、55ページの法人税の均等割、法人それぞれに号が変わったということで、今、説明をしてもらったんですが、要するに、その号が変わったということについて、その理由は何なのか。そのところについて、お聞かせいただきたいと思います。

それから、今の説明で、59ページの2款総務管理費の中の一般管理で、本庁舎空調設備改修工事設計業務委託料と、この700万円の減額と、それから、関連しているところで、その中央公民館の67ページのところの空調設備の改修工事設計業務委託料の減額というのは、関連しているというようところで説明があったと思うのですが、これ、差額ということになれば、何社の入札に応じられて、されたのか。それぞれ、合わせれば大きな減額になると思うのですが、それについての理由というのですが、原因というのですか、お聞かせいただければと思います。

それから、集落支援員と地域おこし協力隊の関係ですけれども、今も言われた、ちょっと流れてくる話というのですか、聞く中で、なかなか合わないというのですか、そういうところがあるように、やめていった方々のところにあるように聞くんです。

それと、61ページの老人福祉費の中の集落支援員について、今、当初も言われてきましたけれども、サロンを普及していってもらうためにということで、予算の中でもあったと思うのですが、この中身というのは、我々、外から見て、どうこう言うのもおかしいのですが、しかし、中として、その集落支援員を充てるということが、予算の上では、町として有利になるか知りませんが、町でそういう方々を、町の職員として採用していくということも必要ではなかったのか。十分に集まらなかったということについて、その辺のところはどういうふうに捉えておられるのか、お聞きしたいと思います。

地籍はそんなんに進んでいるということですし、工事は完成したということでありますので、以上、お聞かせいただきたいと思います。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） 美濃議員の再質疑にお答えいたします。

法人の指定がえにつきましては、資本金とか従業員、紀美野町に在住する従業員の変更等に伴うものでございます。

以上で、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 保健福祉課長、湯上君。

○保健福祉課長（湯上ひとみ君） 美濃議員の再質疑にお答えいたします。

さきに言われた、その関係性で、なかなか合わなくてやめていくというのは、本課については、ちょっと該当しないかと考えております。

先ほど言われたサロンの普及について、雇用はなかなかすぐにつながらなかったら、職員として採用すべきではなかったかという御意見です。職員も十分、地区担当などをして、地域に出向くことが多いですけれども、それだけでは業務が多くなって、サロンの普及として事細かく地域へ出向いていただいて、看護職も今回おるので、健康相談とか、いろんな健康体操とか介護予防の体操など、さまざまなものを、職員だけでは賅い切れないように、出向いていってもらって、サロン普及につなげていってもらっているところです。

職員の採用につなげるという点については、ちょっと私は判断しかねるんですけども、職員が全てそういう業務をするというのも、なかなか業務としては大変なのか、やはり、こういうコーディネーターの方々、また、先ほど言いましたように、災害時の避難行動要支援者の見守りの看護師さんなど、本当に精力的に地域を回っていただいているので、この事業を活用して、まちのために、やっていただいているようなことを今、考えておるところです。十分、その事業として活用できているなどは考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） まちづくり課長、西岡君。

○まちづくり課長（西岡靖倫君） 美濃議員の再質問に答えたいと思います。

地域おこし協力隊なり集落支援員において、合わない人がおる場合も事実でございます。そういった形で、自分の思いと地域でやっていくというようなことの中で、地域、または地域住民との関係、それから、行政との関係ということで、幾分かずれが出てきて、自分の思い、夢が達成できるというような形のない中で、やめていったという人もいます。

だけど、それぞれにおきまして、いろんな事情があります。思いも違いますし、考え方も違うしということですが、とりあえず、我々、今現在努めているのは、話し合っていく、または、日報にいろんなことを書いていただくというような中で、改善を図ろうと今、努力しております。

それから、将来において、町の職員とかということもあるのですが、和歌山県

内におきまして意外と多いのは、そのまま支援員になっておったり、また、町職員とか、農業とか、起業されてとかということで、地域とのかかわりを持ってというようなことで、それぞれが努力された中での道だと思います。

今後、いろんな形で研究していきたいと思っております。今すぐどうしていかとういうこともありますけれども、それぞれの、紀美野町にとって一番いい方法というのを考えていくことも大事かと考えております。

以上、簡単ですが、説明とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長（中谷昌弘君） それでは、美濃議員の再質疑にお答えいたします。

御質問の内容は、入札の業者数ということだと思います。それと、原因ということでございます。

入札の業者数につきましては、8社でございます。原因につきましては、先ほども御説明しましたとおり、落札率というか、入札差額もございます。それと、若干といえますか、設計内容の見直しも全て含めて、役場、中央公民館の今回の減額補正ということになってございます。

簡単ですが、御説明いたします。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前10時03分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前10時04分）

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） ただいまの美濃議員からの再質問の中に、町職員として雇うほうがいいんじゃないかというふうなお言葉があったと思うんですが、あくまでもこれは国の施策で、100%補助、そうした補助を受けながら、この集落支援員というのを雇用している。そして、その後、やはり、できれば紀美野町に住んでいただきたい、こうした思いもその施策の中には入っております。

したがって、紀美野町になれていただいて、そして、紀美野町に住んでいただけ

るということでございますので、これは職員とはまた別の話であろうかと思っておりますので、御理解賜りたいと思っております。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） まず、その55ページの税のところでございますけれども、従業員たちの減と、資本金の減というふうにおっしゃられたかというふうに思うのですけれども、そうなってきた原因というのは何ですか。そうなってきた原因ですね。資本金が減った、従業員が減ったということについて、どういうふうに捉えておられるのか、お聞きしておきたいと思っております。

それから、再質の中で、今、ちょっと聞いていることと答えていただけることのすれ違いがあるように思うのですけれども。

集落支援員を雇うことは、別にそれはいいのですよ。ただ、老人福祉として、サロンとか見守りとかという点でいく場合に、その業務というのは、今ある業務の中の新たな業務なので、支援員を充てることがいいということなのか。やはり、町内の方々の見守りとか、それから、サロンというのは今後、恐らく、介護の総合事業との関係でも、町が力を入れていくのではないかというふうに思うんですけれども、そう考えた場合に、やはり、この町の中の、先ほど三大都市云々の話がありましたけれども、じゃなくて、町の中の方で職員になっていただいて進めていくことのほうがいいのではないかと。要するに、それに応じてもらえると。こちらが募集をすることに対して、応じていただけることにもつながるということではないかというふうに思うんですが、その点について、もう一度、お聞きしたいと思っております。

それから、65ページの地域おこし協力隊で、課としても一生懸命取り組んでいただけていると思うんですが、以前にもお聞きしましたように、奈良県の川上村ですね。日本で一番早く消えるというふうに、勝手なレポートで言われたところですね。そこでは、奮起して、村長さんも頑張って、この協力隊にも若い人に入ってもらって、これで一番に消えることはないというふうに言っておられるようなんですけれども、この方々、来られている協力隊の方が、やはり、相当、自分の裁量で進められるというところがあるように思うのですけれども、聞いているのですけれども、うちもそら、その協力隊の裁量というのは考えていただけると思うんですが、相当、幅広く動いているところがあるように聞くんです。

また、一旦入っておったどこかの大学の方で、一旦出て行って、何ていったか、ちょっとややこしいですが、例えば、デザインの研究をして、そこで力をつけて、また戻ってきて、その仕事を続けると、そういうふうなことを言っておられる方もあるというふうに聞くんですね。

そんなことで、うちも若い人、協力隊をこういうふうな形でやっておられるかわかりませんが、ちょっと離れられる人がやっているというのは、非常に心、残念な思いがするんですけれども、その点で、賢明に考えて、そういうことで、話し合いもしていくというふうに言われましたけれども、もう少し、そういうところで幅広くいくことの必要があるのではないかというふうに思うんですが、もう一度、お聞きしたいと思います。

それから、空調ですけれども、設計の見直しもあったということなんですが、どの程度の見直しがされたのか。その辺、もう一度、お聞きしておきたいと思います。

以上、お聞きしたいと思います。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前10時11分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前10時11分）

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 美濃議員の再々質問にお答えいたしたいと思いますが、集落支援員の関係、美濃議員のおっしゃられることは重々わかります。というのは、集落支援員に来ていただいて、そして、移住をしていただく。そのためには、やはり定職を持たなあかんやろと。そこらにつながってこようかと思えます。

私も、町民の方々から、その後、町長、どない考えてあるのよと。3年たったら、もうクビかいというふうなお話もございました。しかし、これ3年間の間に、やはり、自分の仕事を探し、そして、定住をしていただくというふうな施策ですので、その施策の中で定住をされて、そして、うちの町の職員採用試験を受験されて、合格されたら採用していくということになるかと思えます。

したがいまして、やはり、身分的には違うということ、まず御理解いただいて、そして、その上に立って、できるだけそうした方々も職員として受験をしていただければ、応募をしていただければ、そうしたことで取り組みを行っていくということで、一般の町民の皆さんと公平にというふうに思いますので、御理解を賜りたいと思います。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） それでは、美濃議員の再々質疑にお答えいたします。

大変、難しい御質疑をいただきまして、会社の方針と会社の経営につきましては、当町では関与することができません。会社がそれぞれの運営方針に伴って、資本金の変更、もしくは従業員の配置の変更というのを考えていると私は考えておりますので、御理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長（中谷昌弘君） それでは、美濃議員の再々質疑にお答えいたします。

設計内容の見直しということでございます。委託料にも書いていますとおり、改修工事ということでございます。基本的には、空調の機器であるとか、天井内の配管設備とか、電気設備等々を含めて、平成29年度の工事費として計上してございます。

設計内容の見直しにつきましては、改修ということで、できるだけ既存の部分、ダクトであるとか、十分使える部分は使いながらいくということでございます。それに伴う設計の減ということもございます。御理解を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第16号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第16号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時15分)

再 開

○議長(小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時26分)

◎日程第2 議案第17号 平成28年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第3号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第2、議案第17号、平成28年度紀美野町国民健康
保険事業特別会計補正予算(第3号)について議題とします。

これから質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

(5番 田代哲郎君 登壇)

○5番(田代哲郎君) 1点だけ、お伺いさせていただきます。

9款諸支出金、78ページです。3項の基金費、財政調整基金費、25節積立金、財
政調整基金積立金、5,063万4,000円の積立額です。積み立て後の基金、これが
可決した場合、積立金の基金残高がどのようになる予定なのか、この1点だけです。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 住民課長、増谷君。

(住民課長 増谷守哉君 登壇)

○住民課長(増谷守哉君) 田代議員の御質疑にお答えさせていただきます。

ページ数が78ページの9款、3項、1目の財政調整基金、補正によりまして、5,
063万4,000円を基金のほうへ繰り入れるということになってございます。現年
度の受ける基金の残高というのが、5,026万1,000円ございました。今回の補正

額で、7,075万8,000円繰り入れるということになりますので、補正後におきましては、1億2,101万8,000円ということで、基金残高となる予定でございます。

以上、説明とさせていただきます。

(住民課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ございませんか。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番 (美濃良和君) 1点、お聞きしておきたいと思います。

74ページなんですけれども、歳入のところで、説明のときにこの3款、2項の災害臨時特例補助金ということで、10万9,000円、これ、災害臨時特例補助金として、これ東日本大地震との関係でというふうに説明があったかというふうに思うのですけれども、これについての説明をお願いしたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 住民課長、増谷君。

(住民課長 増谷守哉君 登壇)

○住民課長 (増谷守哉君) 美濃議員の御質疑にお答えさせていただきます。

ページ数が74ページの3款、2項、7目災害臨時特例補助金でございます。10万9,000円の同額補正ということでございます。

これにつきましては、東日本大震災に伴う特例措置ということで、医療保険者の同額負担分を国から補助されるものでございます。紀美野町につきましては、1名の方が対象となったということで、今回の補正をさせていただくものでございます。

以上、説明とさせていただきます。

(住民課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから、議案第17号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これですべての討論を終わります。

これから、議案第17号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 議案第18号 平成28年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第3、議案第18号、平成28年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)について議題とします。

これから、質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから、議案第18号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから、議案第18号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

◎日程第4 議案第19号 平成28年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第4、議案第19号、平成28年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これでは質疑を終わります。

これから、議案第19号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから、議案第19号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第20号 平成28年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)について

○議長 (小椋孝一君) 日程第5、議案第20号、平成28年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)について議題とします。

これから質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

(5番 田代哲郎君 登壇)

○5番 (田代哲郎君) 説明でちょっと気になるところがありましたので、1点だけ質疑させていただきます。

3款地域支援事業費、2項包括的支援事業(任意事業費)、101ページです。生活支援体制整備事業費、7目、7節賃金、臨時雇用が217万8,000円の減額補正です。提案説明で、コーディネーターを募集したけれど、応募がなかったのも、職員で代行するためという提案説明がありました。そのコーディネーターというのはどういう仕事なのか。それで、職員で代行するというのは、どういうことなのか、この説明内容について、再度、説明を求めます。

以上です。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 保健福祉課長、湯上君。

（保健福祉課長 湯上ひとみ君 登壇）

○保健福祉課長（湯上ひとみ君） 田代議員の御質疑の101ページの3款、2項、7目の臨時雇用の217万8,000円の減額についてでございます。

これにつきましては、議員おっしゃるとおり、生活支援コーディネーターの雇用がなかったということで、以前、説明でも申し上げましたとおり、ホームページと広報誌で2度募集しました。

また、これにつきましては、地域のことをよく知っている方で、特に、資格が必要とか、そういうことではなく、地域をよく知っていて、どういう事業とか、いろんなものが必要かとか、そういう現状を知って、施策化することを提案してもらうとか、実際に介護とか介護予防とか、地域づくりなど、一緒に相談するような役割、現在ではその役割と考えております。

その方につきましては、声かけも行いましたが、募集したところ、なかったということでした。先ほどおっしゃったとおり、職員で対応ということなんですが、今、新しい総合事業に変わるということで、保健福祉課内でも十分検討しているところで、これにつきましては、保健福祉課、先ほどからも言っていますとおり、職員も地域に根差した活動ということで、平成21年度から地区担当を持って、いろんな地域があることで、その地域性を生かしたかわりをずっと続けてきておまして、その地域、地域の状況もよく把握しているところでもあります。

また、介護保険事業計画などで、生活圏域ニーズ調査など、状況も把握しているところでして、その状況も職員と、また、先ほど言いましたサロンコーディネーターとか、災害時避難行動要支援者の見守りの看護師さんなど、地域の状況を把握している者も多いい中で、当面、この生活支援コーディネーターにかわる役割を職員でやろうかということで、現在、進めているところです。

将来的には、今、募集して、なかったということなんですけれども、今後は、募集も考えているところですので、御理解賜りますように、よろしくお願いいたします。

（保健福祉課長 湯上ひとみ君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） 例えば、保健師の分野だったら、地域担当と業務担当になっているので、業務をしながら地域も担当しているから、よくわかっているのと、地域

の見守り担当の人は、地域をずっと回っているので、地域の状況をよく把握しているという。保健福祉課の皆さんが地域をよく把握しているというのはわかるのですが、当分の間ということなんです、だから、仕事、これも、職員で代行しようかという、当分の職員で当たろうかということのようですけれども。

外から見てる関係で、実際はよくわからないのですけれど、外から見ている感じでは、非常に保健福祉課内の仕事の量というのは、高齢化も進んでいくし、例えば、総合事業等も入ってきますので、非常に煩雑というか、非常に仕事量がふえてきているのではないかと、そういうふうには、私なりに観察して思いますので、やっぱり、できたら、次の募集もやって、そういうコーディネーターをきちんと雇用するということが基本でないと、そういうふうに簡単に職員で代行しようかということにはならない、そういうふうに抱え込んでいくと、ますます忙しさが増してきて、仕事の煩雑になってくるので、その辺のことをやっぱりきちっとやってほしいと思います。その辺の考えについて、答弁を求めます。

○議長（小椋孝一君） 保健福祉課長、湯上君。

○保健福祉課長（湯上ひとみ君） 田代議員の再質疑にお答えいたします。

田代議員おっしゃるとおり、仕事量が多く、非常に忙しい中で業務をやっております。ただ、この生活支援コーディネーターというのは、ほかの市町村では、よそへ委託しているところとかございますが、やっぱり、介護保険制度の改正で核となる部分を担っていく人になると、私たちは考えております。それで、やっぱり、資質を担保したいということで、募集もかけて、なかったということもあるんですけども、当面は、やっぱり方向性はしかとしたものを持ちたいと考えたところもございます。

ただ、先ほどおっしゃっていただいたとおり、やはり、業務量としては多くなっておりますので、職員で抱え込まないように、今後、募集など、応募で適正に遂行できるように考えていきたいと思っておりますので、以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第20号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第20号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

◎日程第6 議案第21号 平成28年度紀美野町農業集落排水事業特別会計補正予算
（第2号）について

○議長（小椋孝一君） 日程第6、議案第21号、平成28年度紀美野町農業集落
排水事業特別会計補正予算（第2号）について議題とします。

これから質疑を行います。

お静かに願います。

質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第21号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第21号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 議案第22号 平成28年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計補正予算
（第3号）について

○議長（小椋孝一君） 日程第7、議案第22号、平成28年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第22号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第22号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

◎日程第8 議案第23号 平成28年度紀美野町美里簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について

○議長（小椋孝一君） 日程第8、議案第23号、平成28年度紀美野町美里簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第23号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第23号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第24号 平成28年度紀美野町上水道事業会計補正予算(第3号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第9、議案第24号、平成28年度紀美野町上水道事業会計補正予算(第3号)について議題とします。

これから質疑を行います。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番(美濃良和君) 1点だけ聞いておきたいと思います。

130ページのキャッシュフローのところ、人件費について、この説明をお願いしたいと思います。

それから、その下の131ページの有形固定資産ですけれども、減価償却がとられてきて、残が655万6,000円、ここまで、建物については来ているということでしょうか。お聞きしておきたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 水道課長、田中君。

(水道課長 田中克治君 登壇)

○水道課長(田中克治君) 美濃議員の御質疑にお答えします。

まず、130ページ、キャッシュフローによる人件費の支出なんですが、これは、給料等昇給により増額となっております。

あと、131ページ、固定資産の減価償却累計額ですが、655万6,000円で、このようにだんだんと償却しております。

以上で、答弁とさせていただきます。

(水道課長 田中克治君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 11番、美濃良和君。

○11番(美濃良和君) 線がないので見にくいのですけれども、人件費の支出が補正予定額が18万6,000円の減というふうになっているのではないですか。もう

一度、お聞きしたいと思います。

○議長（小椋孝一君） 水道課長、田中君。

○水道課長（田中克治君） 美濃議員の再質疑にお答えします。

キャッシュフローの場合は、支出額については減っていくということで、マイナスの三角の記号となっておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第24号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第24号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

◎日程第10 議案第35号 第2次紀美野町長期総合計画基本構想の策定について

○議長（小椋孝一君） 日程第10、議案第35号、第2次紀美野町長期総合計画基本構想の策定について議題とします。

これから質疑を行います。

6番、西口優君。

（6番 西口 優君 登壇）

○6番（西口 優君） 紀美野町長期総合計画の参考資料の18ページの中に、目標人口というの、こういうのを書かれています。このページの中には、平成33年を目途に、9,100人という。この14ページには、平成27年度の国勢調査、9,206人となっている。26年でそうなっているということから考えると、この目標はおくら

せることが必至やという、こういうふうなことを書いてるんやけどね。

確かに、こういうふうな、これはあくまでも目標はわかるんよ。目標はわかるんやけど、こういうふうな目標を達成するための具体的な施策というのが、ちょっと、こうなりますよという、ここはあくまでも、それは案だから、それは仕方ないのかもわからんけど。

ただ、こういうふうにならないための施策というのが一緒に明示されていると、もっといいんやけど、ただ単にこうなってしまうよという形では、これはこういうふうにならないための施策も、こんなに考えて、ならないようにしたいという部分が一緒に明示されてないので、こういうふうなあり方というのは、それは人口問題というのは、特に根本にかかわる問題やと思うんですよ。だから、もう、具体策というのを、ないのかもわからんけど、具体策というのは、挙げにくいというのはわかるんやけども、これを目標とするためには、何かをしなかったら、多分こういうふうな目標にならんと思うわけですよ。だから、それも一緒に説明を願えたら、ああ納得という部分にね。

このままでは、多分、これ、現実問題として、平成33年、9,100人というのが、あくまでも目標やけど、この目標を達成するための施策というのはどういうふうを考えているのか尋ねたいと思います。

(6番 西口 優君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時51分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時51分)

○議長 (小椋孝一君) 町長、寺本君。

(町長 寺本光嘉君 登壇)

○町長 (寺本光嘉君) 西口議員の御質問にお答えいたします。

まず、この基本構想と基本計画、これのあり方をまず理解していただきたいと思えます。まず、基本構想によって、こうした目標をつくり、そして、基本計画に基づいて、各事業を実施していくということで、これ、第2章で基本計画と。

これは、これからの前期基本計画、また、後期基本計画とあろうかと思うんですが、そうした中でやっていくということでございますので、このおっしゃられるとおり、この目標、9,100人、また、平成38年には8,400人と。これを達成すべく、この基本方針に沿って、各種事業をやっていきたいと思います、ということなのですね。

だから、この基本計画というのは、これから、5年間かけて、これをやっていくんやと。で、それを達成させていくんやと。こういう一つの施策です。そういうことで御理解をいただければと思います。

以上です。

(町長 寺本光嘉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ございませんか。

5番、田代哲郎君。

(5番 田代哲郎君 登壇)

○5番 (田代哲郎君) 議案が基本構想の策定についてということになってますので、基本構想への質疑を行います。

7ページ、本計画における目標人口って、先ほどの同僚議員、西口議員から質疑がありました。下のほうで、平成33年、2021年、9,100人、これ、4年後の人口ですね。平成38年、2026年には、8,400人という人口維持目標を掲げています。

参考のためにお聞きしますが、ここでは平成27年9月末日現在の住民基本台帳人口は9,642人で、既に、人口ビジョンによる目標を上回るペースで人口減少が進んでいますという記述になっています。ならば、平成28年、2016年の同時期の基本台帳人口はどうなっているのか、それについての答弁を求めます。

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時55分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時59分)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、中谷君。

(企画管財課長 中谷昌弘君 登壇)

○企画管財課長(中谷昌弘君) それでは、田代議員の御質疑にお答えいたします。

現状として、平成28年9月現在の住基人口ということでございます。9,424名でございます。平成27年9月が9,642人ということでございますので、218名の減となっております。これについては、外国人も含んでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

(企画管財課長 中谷昌弘君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 5番、田代哲郎君。

○5番(田代哲郎君) 平成27年、2015年から、平成28年、2016年の同時期の間で、マイナス218という人口減です。これは、人口ビジョンによる目標を上回るペースで人口減が進んでいるということで、このペースで大体、年間当たりの人口減がこの町では200人というふうに、今までずっと見てきたんですけれども。そして、この目標自身が、4年後に9,100人を維持するという、この目標が妥当なのかどうかということも考えざるを得ないのですが、そのことについて、どう考えておられるのか、答弁を求めます。

○議長(小椋孝一君) 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長(中谷昌弘君) 田代議員の再質疑にお答えいたします。

7ページ、目標人口ということでございます。平成33年、前期基本計画の期間の最終年度ということになってございます。それについて、9,100人という目標を掲げてございます。それについて、先ほどのお話にもありましたように、達成はできるのか。もしくは、この設定の人口について、どうなのかという御質問であったと思います。

今回、第2次長期総合計画を策定する上で、第1次の総合計画も、ある程度の効果を持って、できてきたと考えてございます。第2次長期総合計画は、それをまた含めて、さらに、重点的な目標、例えば、子育て支援であるとか、高齢社会、定住促進、防災対策等々、これまで取り組んできたことをさらに深化させるということで、それも含めて、住民と行政が協働して、まちづくりを行っていくということでございます。それについて、基本方針を5つつくりまして、今後の紀美野町のまちづくりを進めていくということでございます。

そういった点から、実情は、簡単に数字で言いますとそういう数字になろうかと思いますが、この計画といいますか、第2次の紀美野町の総合計画によりまして、目標人口

をこの設定にして達成するというので、各種の事業を進めてまいりたいと考えてございますので、御理解を賜りたいと思います。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） 4年後に9,100人という目標、先にありきで、それを維持するという。いろんな子育て支援、この町は、今もうやっています。例えば、18歳までの、高校生までの医療費無料化であるとか、ほかの自治体にはないような施策、例えば、インフルエンザワクチンの子供への助成もありますし。だから、ほかの自治体にはないような施策をいっぱいやって、そして、それを広げていくという。あと残っているとすれば、もう子育て支援で決め手になるのは、給食費無料化くらいのもので。

でも、今までのようにやっていて、年間200人程度減っていけば、4年後には800人減る、単純計算です、なるので、そういう現状を見据えた上で、9,100人なのか。目標を先にありきという形でのあれではなしに、やっぱり、目標を決めるときには、現状を十分分析して、どういう目標を立てるかということを考えていくべきだということふうに思いますが、そのあたりの考え方について、答弁を求めます。

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 田代議員の再質問にお答えいたします。

議員のおっしゃられるように、この18ページでは、平成33年で9,100人と。今現在でも9,400人やないかと。そして、年間に200人余り、亡くなっていけば、おのずから、こんな数字は出てけえへんのん違うかと。それは、計算上はそうなんですよね。だから、それをいかにしてとめていこうかというのが、我々の行政の政策であろうと思います。

これは私だけではなしに、議員の皆さん方にも協力をいただいて、そして、今後、この政策を進めることによって、一人でも多く、この紀美野町に定住をしていただく。また、一方では、やはり、農業政策やら、そうしたことで、今いらっしゃる方々の子供たちも帰ってこられるような、そうしたまちづくりを進めていかなんと。

また、それに付随して、その教育面、おのずから力を入れてやっていく。そうした連携した政策があつて初めて、これを達成しようよということ、提案をさせていただいておりますので、各議員さんにおかれましては、これはちょっと無理な数字と違うのかと言われて思うんですが、その無理をやっていくのが我々の行政であろうかと思

います。

それと、今、まち・ひと・しごと総合戦略というような、また別に動いています。これも、やはり、紀美野町も取り組んでいるわけです。そこで、そのグリーンツーリズム等々によって、実は、一昨日も生石山へ20人からのグリーンツーリズムで宿泊された、民泊された方々も見にきてくれていました、山焼きをね。

そんなんで、非常に厳しい状況ではあるかと思いますが、何とかこれを達成していくべく、我々努力していきたいと思っておりますので、一つ、議員の皆さん方にも、一躍を担っていただきますように、よろしくお願い申し上げます。

以上です。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ございませんか。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） それでは、若干お聞きしたいと思います。

大体、我々、紀美野町号という、大きな船に、我々9,000人余りが乗って、走っているわけですが、残念ながら、今、走っている船自体が、国の施策のもとで、非常にマイナス方向に向かっていると。そういう中で、我々乗っている人間が何とかプラスのほうに行こうという、そういう努力をしなければならないという大変なことの中で、町としても、いろんなことを考えながらやっていただけている、そういうものであるというふうに認識しております。

ただ、客観的に見ていかなきゃならないこともあるかと思っておりますので、お聞きしたいと思うのですが、今、先ほどから言われている18ページの人口の目標なんですけれども、コーホート法ってやられますよね、計画するとき。あれではどのようなことになるのか、お聞きしたいと思います。

中身なんですけれども、いろいろとアンケートをとられたということで、10ページ、11ページになるわけですが、自然環境がいいとか、そういうようなことが出ていますよね。バスの公共交通がマイナスとか、雇用の場がマイナスとか、日常の買い物がマイナスとかっていうふうな、こういうことも載っているんですけれども。

これをやっていくということは大変難しいのですが、例えば、福祉の関係で見れば、これは大体、55ページ当たりからあると思うんですけれども、この中で、もう現在、資本主義もかなり進んできて、競争が激化している中で、そういうような時代にな

ってくると、ボランティアが必要になってくるんだというふうに言われますけれども、ここでもボランティアというのがあちこちにありますが、これについても、ある程度の対策というのを考えておられて、書いておられると思うんですけども、それについて、お聞きしたいのと、それから、74ページにコミュニティーバスについて書かれておいて、利用促進ということが、住民参加に向けて、ちょっと下の囲みの中で、既存路線の維持に向け、路線バス、コミュニティーバスの利用促進を図りますと。また、住民ニーズの把握に努め、住民の意見を参考に、まちに適した公共交通のあり方を検討しますということになっております。これについて、やはりまだ、当面は、紀美野町ではバスということでされるのか。

それから、ちょっと具体的なところで、72ページの現状と課題の、4つある中で、右下なんですけれども、そこに予約型運行の導入と運行形態の見直しを含めた改善策の検討、実施が課題ですということでありますよね。これは、今、町もその方向に向かっているようなんですけれども、具体的に、予約型運行ということについて、どのように把握されているのか。

私は単に、今走っているところの予約ではなかなか住民ニーズとはならないと。やはり、もう本当に予約でいくなれば、徹底した停留所をふやしていくというふうな形で、住民ニーズに合わせていかなきゃならんというふうに思いますけれども、この辺は少なくとも含めたことで書かれているのか、お聞かせいただきたいと思います。

あと、もういろいろと書いてくれてあるんですけども、非常に難しいことでありまして、86ページ、住民参加に向けてというのが書かれておりますけれども、農業が若年世代にとって魅力的な産業となるよう、経営環境の改善に取り組むとともに、生産販売の拡大に積極的な農家を後押ししますと。一応、これについて、特にこれというのがあれば、お聞かせいただきたいと思います。

以上、答弁をお聞きしたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長(小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前11時14分)

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時17分）

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、中谷君。

（企画管財課長 中谷昌弘君 登壇）

○企画管財課長（中谷昌弘君） それでは、美濃議員の御質疑にお答えいたします。

人口目標という点でございます。御質疑いただいているページ数は、恐らく、案のほうのページ数で聞いていただいていると思います。17ページ、18ページから、人口に対することも書かれてございます。

これにつきましては、当然、基礎調査といいますか、基本的ないろいろな調査をしてございます。町民のアンケートもしてございます。そういう人口、そのような面で、目標人口というのは定めてございます。

基礎調査の中では、人口減少が、当然続いておるといのは、皆さんも御承知のとおりでございます。産業分野、教育環境、福祉、社会保障、消防・防災、それと、住環境の特徴等々、いろいろな観点から、基礎調査を行ってございます。

それで、具体的に、実際のところ、全体的に見ますと、まさに、人口減少がいろんなことの原因となる一つになってございます。それを防ぐと。何としても減少幅を少なくするというので、いろんな基本方針がございまして。その中に、各分野がありまして、その中に施策という形で持っております。こういうような事業をしながら、この目標の人口を達成したいということを考えてございます。

以上、簡単ではございますが、御説明といたします。

続いて、資料でいいますと、55ページ、福祉の充実したまちづくりという中の御質疑もあったと思います。これにつきましては、福祉の充実したまちづくり、健康と福祉ということでございます。その中には、分野につきましては、政策分野を4つ設けてございます。施策につきましては、13の施策を考えております。

その中で、基本的に、現状と課題というのが、いろんな調査から、アンケートであったり、基礎調査であったり、そういうものから状況を把握しております。その状況の中で、いろんな分野別、また施策を講じていくということでございます。

済みません、今、細かな各分野別の説明につきましては、各担当課長のほうから御説明がありますので、御了解いただきたいと思います。

私のほうからは以上でございます。

(企画管財課長 中谷昌弘 降壇)

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前 11 時 22 分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 11 時 27 分)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ございませんか。

11 番、美濃良和君。

○11 番 (美濃良和君) 答弁もれで、基本構想における人口目標ですね。それと、コーホート法ではどうなっているのかということについて、お答えいただけますか。

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前 11 時 28 分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 11 時 31 分)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長 (中谷昌弘君) それでは、美濃議員の再質疑にお答えいたしたいと思えます。

先ほどの目標人口を達成するにつけて、いわゆるコーホート法ということですが、それを使っているかどうかということでございます。

今回のケースにつきましては、そのコーホート法というのは使ってございません。あくまで、人口ビジョンの中の推計から計算をしたものと考えていただきたいと思います。御理解を賜りたいと思えます。お願いいたします。

○議長 (小椋孝一君) 11 番、美濃良和君。

○11 番 (美濃良和君) あの数字というのは、当たるんですね。しかし、そういう中であっても、紀美野町としてはこれだけ努力して、このまちを発展させていくと

いうことで計画は組まれていると思うのですが、それとの差はどれだけあるのかということを知りたかったのですが、手持ちでなければ、また、後でも聞きたいと思います。

それからあと、そういうことで、いよいよ具体的に計画ができれば、一度また、議会と全協あたりで、もうちょっとゆっくりと、もうちょっと具体的にやっていただくというような方向で取り組んでいただきたいと思います。

これは要望ですが、よろしくをお願いします。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから、議案第35号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから、議案第35号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第35号は原案のとおり可決されました。

これで、本日の日程は全部終了しました。

閉 会

○議長（小椋孝一君） 本日はこれで散会します。

（午前11時33分）